



# 施工の手順

## 2 下地の清掃

下地表面の付着物や突起は、金ペラ等でけずり平滑にした後良く清掃してください。  
また、油が付着している場合も完全に取り除いてください。

油・砂・ゴミ等は接着不良の原因になります。

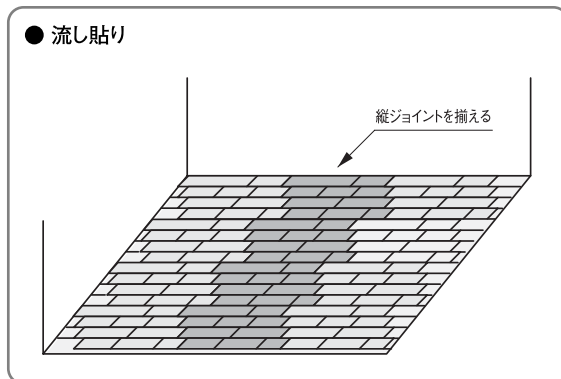
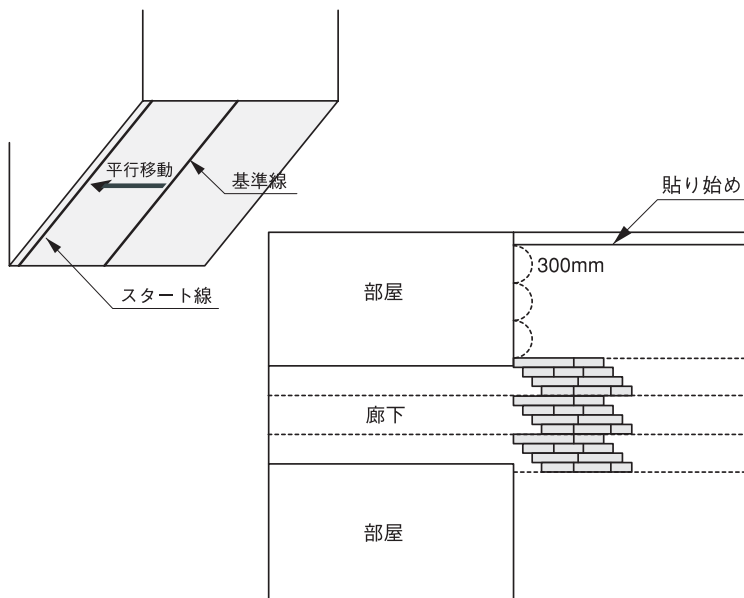


## 3 割付け・墨出し

- ①部屋の中央部に基準線を引きます。
- ②廊下部分などとの取り合いを考慮し、貼り始めの位置を決定し、基準線を平行移動してください。(廊下部分と目を通す場合は、廊下を基準にして貼り始めの基準線を決定すると割付けがうまくいきやすくなります。)

③床材を仮並べて、色柄のバランスをとります。

④縦のジョイントを同列に並べる流し貼りを基本とします。



## 4 接着剤の塗布

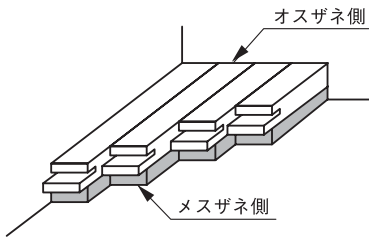
- ①施工用接着剤TCE-928Rを専用クシ目ゴテを使用し下地面に塗布してください。
- ②一度にたくさん塗布せず、床材1列分ずつ塗布してください。

- 必ず指定の接着剤・クシ目ゴテを使用してください。  
(指定以外のものを使用すると床鳴りの発生や接着不良の原因となります。)
- 接着剤の説明書・注意事項をよくお読みの上ご使用ください。

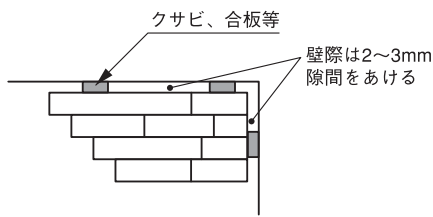


## 5 貼り始め

- ①床材を切断し、オスザネが直接壁に接する場合はオスザネを切りおとし、壁に向かって右端よりメスザネ側を手前にして基準線にそろえて施工してください。



- ②床材の伸びを吸収するために、同梱のクサビや合板により壁際に2~3mmの隙間をあけてください。

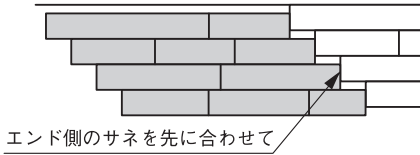


隙間をあけないと、床材が伸びたときに突き上げや床鳴りの原因となります。

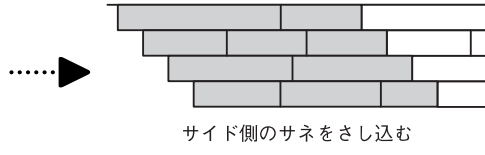
- ③下地の不陸などで床材が浮く場合は、重りをのせてなじませてください。
- ④接着施工のため接着剤が硬化するまでは動きまでするので、基準となる1枚目は動かないようにしっかりと固定してください。

## 6 2枚目以降の施工

- ①1枚目のエンド部のメスザネに2枚目のオスザネをのせながらサネを合わせ、基準線に沿って貼ります。



- ②以下順次、基準線に合わせてサネを差し込みながら貼り進めます。



接着剤がはみ出した場合は、乾いたウエスまたは溶剤をしみこませたウエスですぐに拭き取ってください。(水は不可) 硬化すると取れなくなります。

## 7 2列目以降の施工

- ①2列目部分に接着剤を塗布します。
- ②1列目のメスザネにオスザネをはめ込みます。この際、壁際は隙間をあけるようにしてください。
- ③以下、順次貼り進めます。

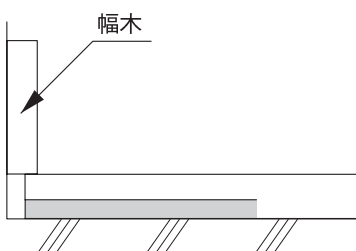
## 8 貼りじまい

- ①貼りじまいは、床材どうしに隙間が生じない程度に寄せて、合板または同梱のクサビで隙間をあけてください。
- ②施工終了後、床表面を検査し、隙間がある場合は詰めて、接着剤がついている場合は速やかに拭き取ってください。接着剤は硬化すると、床材が動かず拭き取ることもできません。
- ③隙間確保のためのクサビや合板は1日後に取り外してください。

きつく寄せすぎると突き上げの原因となります。ジョイント部どうしは軽くふれる程度に寄せてください。

## 9 幅木取付

- ①幅木は、部屋の周辺部の隙間を隠すように施工してください。



## 10 養生

- ①施工後は傷や水漏れから床を守るため、床をきれいに清掃し、養生シートを養生テープで止めて十分に養生してください。この時、養生テープを直接床材表面に貼ることは避けてください。
- ②養生シートの上からペンキや雨水がかかったまま放置するとシミになることがありますので注意してください。
- ③全ての内装工事、設備工事が終わり、脚立や道具等を持ち込まなくなってから養生シートをはずしてください。

施工後は、換気を充分にしてください。高温多湿の状態で締め切っていると、床材の突き上げの原因になることがあります。



人・地球環境を考える

**東亜コルク株式会社**

本 社 大阪府大東市新田中町5-1  
TEL.072-872-5691 FAX.072-872-5695  
ホームページ <http://www.toa-cork.co.jp>